

美和ダム 三峰川バイパスの試験運用速報（その2）

放流の速報

注)ここに表示されているデータは速報値です。

美和ダムでは、総雨量約117mm(2007/7/14 0:00~7/16 17:00)の雨が降り、最大流入量が約166m³/sの出水となり、2007/7/15 6:00~7/16 17:00の約35時間、美和ダムの洪水調節容量を確保するため三峰川バイパスから最大136m³/sの放流を行いました。

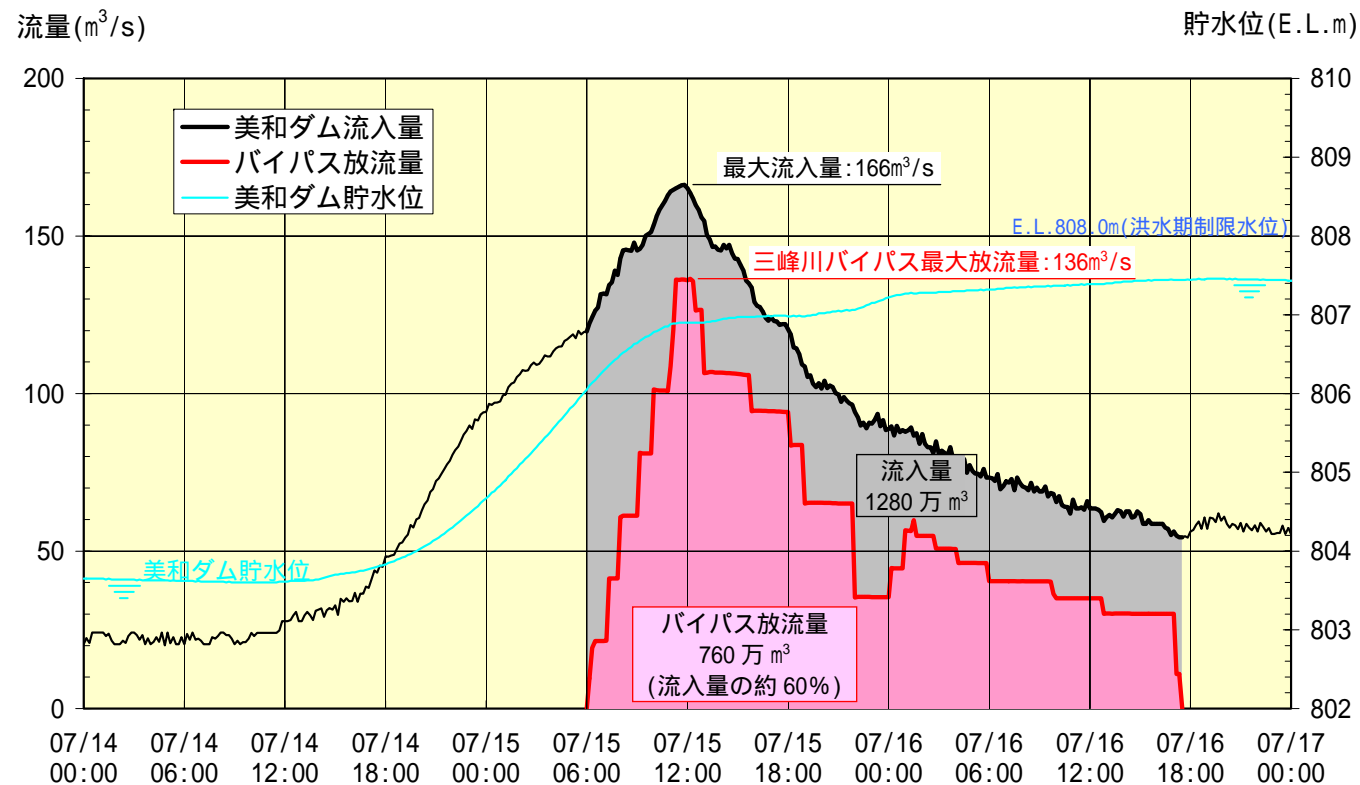
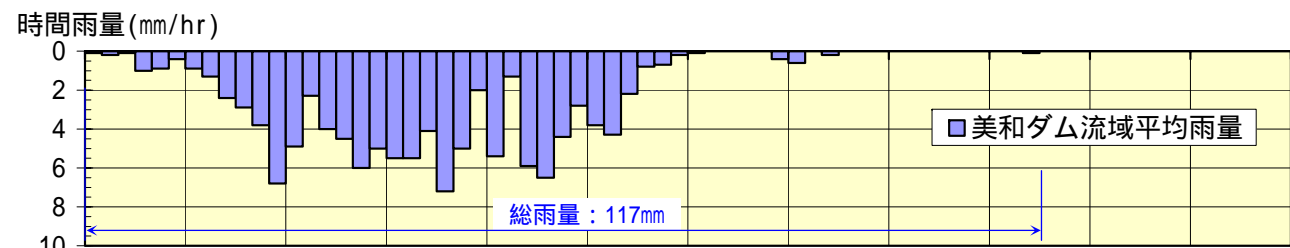


【速報値】

三峰川バイパス最大放流量	: 136 m ³ /s (2007/7/15 12:10)
美和ダム最大放流量	: 161 m ³ /s (2007/7/15 12:10)
美和ダム最大流入量	: 166 m ³ /s (2007/7/15 11:50)
総雨量(流域平均)	: 117 mm (2007/7/14 0:00~7/16 17:00)

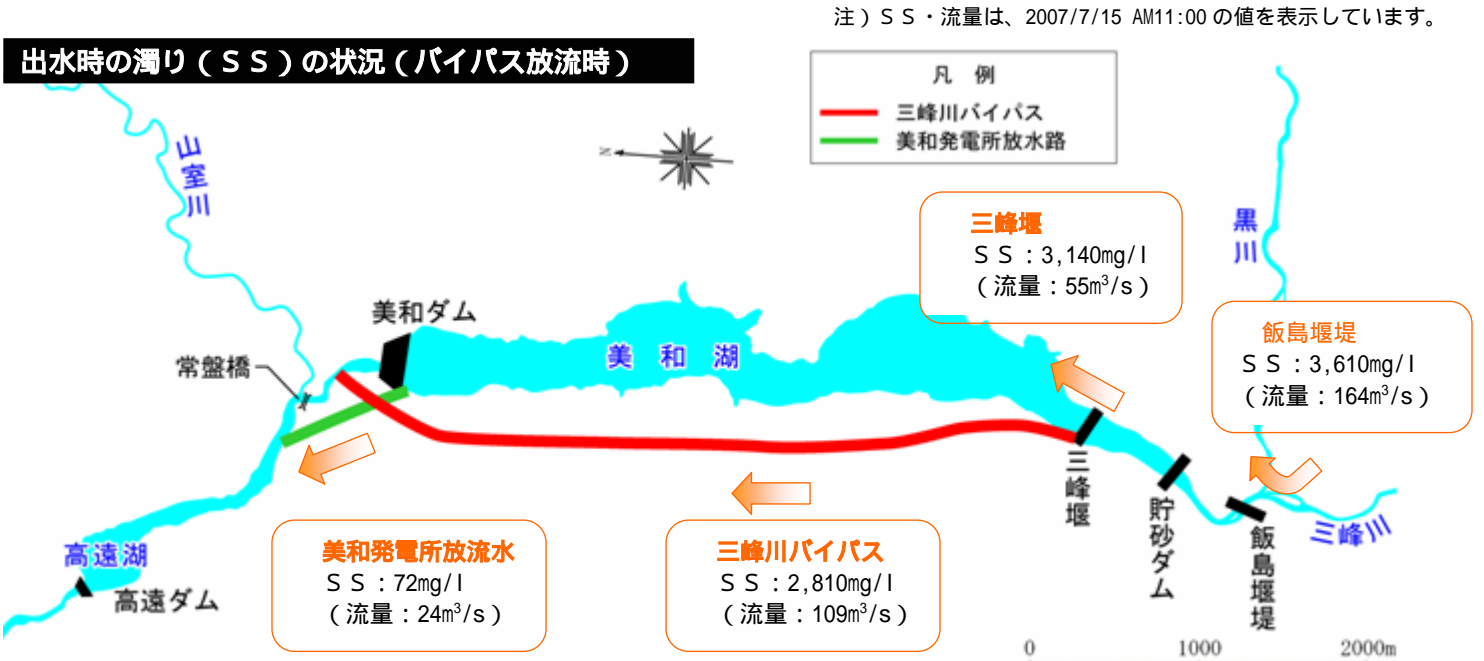
放流量の時間変化

美和ダムへの流入量と三峰川バイパスによる放流量の時間変化は、以下の図のとおりです。
今回の出水では、流入量が約120m³/sを超えてから約60m³/sを切るまでの時間で運用され、この期間のダムへの流入量1280万m³(黒線)のうち、三峰川バイパス(赤線、ピンク塗りつぶし)により760万m³を放流し、上流域からの濁水の約60%を下流へバイパスしました。



出水時の濁り(SS)の状況

上流の飯島堰堤から流入してきた水はSS約3,600mg/lで、美和湖に入る水はSS約3,100mg/lでした。
美和ダムからの放流水はSS約70mg/lで、三峰川バイパスからの放流水はSS約2,800mg/lとなっており、施設完成以前は美和湖で堆積していた土砂がバイパスされ、美和湖への土砂流入を軽減させたと思われます。

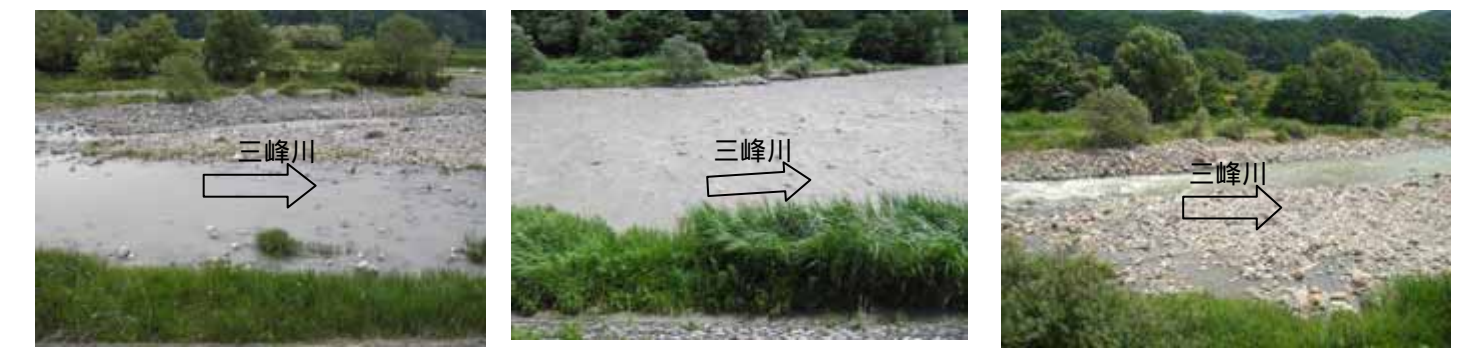


< 語句説明 >
SS(浮遊物質) ... SSとは、水中に浮遊する粒径2mm以下の不溶性の粒子状物質の濃度のこと、水の濁りの度合いを表す指標として用いられています。

下流河川環境への影響

出水前、出水時、出水後における下流河川の状況は、下記の写真のとおりです。

出水前、出水時の河川の状況(三峰川7.6km 伊那市下山田地先)



出水前の状況(5月30日) 出水時の状況(7月15日12時) 出水後の状況(7月23日)

出水後の河床は、出水前と同じレキ河原に戻りました。
下流河川環境へのバイパス放流の影響を評価するための環境調査を実施します。

